

恋人間DV防げ

十代にも広がる恋人間の暴力行為「デートDV」
P.O.法人ハッピーウーマンプロジェクト(富山市、小林涼子理事長)は啓発活動

富山のNPO

などを行う指導者の養成を始める。十一月から講座や勉強会を行い、学校関係者らに参加を呼び掛けて日々の指導に生かしてもらおうほか、高校などでの出前講座も開く考えだ。

指導者養成へ 11月から講座

県女性相談センター

(同市)へのDV相談件数(夫婦間や内縁関係、元夫婦などが対象)は、平成十八年度が前年度比55・7割増の延べ二千二百六十四件。本年度は四月で既に千七十七件、前年同期比40割増と急増している。一方、未婚の男女間の暴力行為であるデートDVに関する相談は十八年度に九件、本年度も四月七月で九件と、まだ数は少ないが、DVと認識していなかつ

て繰り返される暴力行為で、女性が被害者となる場合が多い。殴る、けるなど身体的なものだけでなく、性的暴力や、怒鳴ったり、友人関係を制限するなどの精神的暴力、遊ぶときにいつもお金を払わせるなどの経済的暴力がある。

たり、相談できないなどのケースが潜在的にあるとみられる。同市の県総合福祉会館で、県共同募金会ボランティア・NPO活動支援

同NPO法人は、女性の健康や社会的問題についての啓発講座や支援活動を展開。小林理事長は「DV問題を抱える女性は本当に多い。デートDVを若い世代に知ってもらう予防につなげたい」とし、指導者養成に取り組みことにした。講座は十一月十一日、41。

090(280008)13